

# 墨田区議会だより

第 12 号

発行 昭和52年10月20日  
 発行所 墨田区議会事務局  
 〒130 墨田区横網一の6-1  
 電話 626-3151(大代表)

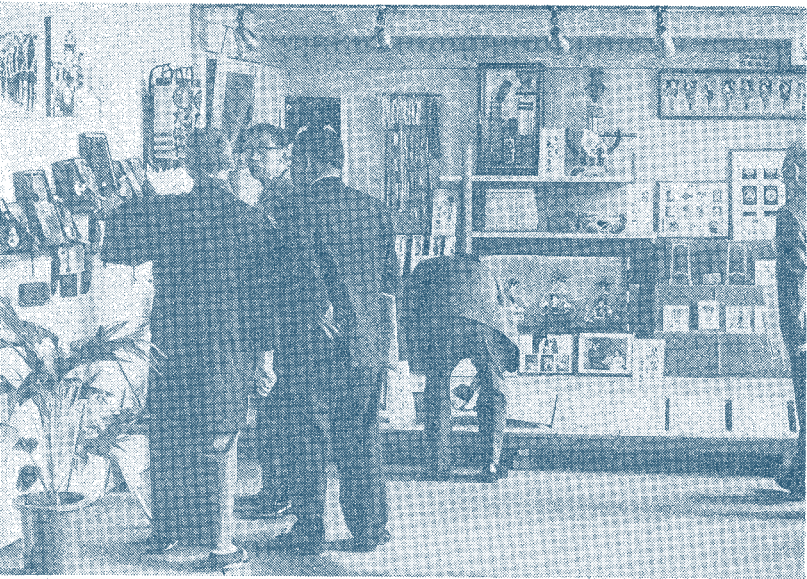
## 第三回定例会

### 防災拠点計画の見直しを

#### 都に意見書提出

今定例会は、九月二十一日から三十日まで開会し、初日の冒頭、去る九月一日逝去した故松野緑之助議員に対する追悼演説を議員の代表が行った後、七月一日付で就任した議員選出監査委員からあいさつがあり、また、さらに、自民・公明・共産・新自由クラブ各一人の議員が一般質問を行いました。続いて議事に入り、区長から提出された七件の議案について、提案理由の説明があり、それぞれ所管の委員会に審査を付託しました。また、区議会に出された諸願・陳情十八件も、それぞれ所管

の委員会に付託し、散会しました。最終日の九月三十日の会議では、初日付託された議案、諸願・陳情の各委員会審査報告を議題とし、議案はすべて全会一致で議決し、陳情は賛成多数で報告し、おり決定しました。続いて、昭和五十一年度決算が上程され、十八人の委員で構成する特別委員会を設置して、そこで審査することになりました。さらに、任期満了した教育委員の後任委員を任命することに同意を求め、議案が提出され、全会一致で同意しました。ついで、五つの特別



産業展の伝統名人芸コーナー

### 51年度区各会計決算

#### 特別委員会でも審査

本会議最終日に区長から提出された、昭和五十一年度墨田区一般会計決算と、同じく国民健康保険特別会計決算は、十八名で構成する決算特別委員会に付託し慎重に審査することが決まりました。

#### 決算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎寒川 直 ○森下三七人
- 山本賢太郎 久保田 薫
- 田中 左内 渡辺 良
- 西 恭三郎 石橋 正夫
- 瀧澤 良仁 柴田 昌男
- 湯本 令二 原田 裕
- 大和久常雄 柴田 来治
- 槐 勲 矢野 真治
- 青木 政最 甚野 緑

#### 特別委員の一部が交代

9月30日の本会議で、五つの特別委員会が委員の一部を交代しました。特に緑化災害対策特別委員会は、急逝した松野議員の後任として、柴田来治議員を委員長に選びました。

#### 公明党(七人)

- 並木 保雄 総務委 横川三-7-7 (622)七三五二
- 薩田 隆明 建設委 向島五-20-4 (625)八三四四
- 槐 勲 厚生文教委 立花一-28-4-615 (618)三八四九
- 矢口甲子夫 区民衛生委 横川三-11-1 (623)七二六四
- 青山 政雄 総務委 太平二-12-2 (623)一七二七
- 甚野 緑 区民衛生委 押上一-37-8 (623)五三〇四
- 森下三七人 建設委 江東橋四-15-6 (631)九五七五

#### 共産党(五人)

- 渡辺 良 厚生文教委 八広六-1-9 (612)八三〇四
- 西 恭三郎 区民衛生委 東向島五-5-4 (619)八一一一
- 武ノ内啓次郎 建設委 京島一-9-11 (618)四二一一
- 石橋 正夫 厚生文教委 押上二-34-7 (612)一四三八
- 吉田 実雄 総務委 向島三-24-8 (623)三三五六

#### 社会党(二人)

- 大和久常雄 区民衛生委 東駒形一-7-2 (626)〇〇八九
- 村瀬 政幸 厚生文教委 八広一-19-2 (618)〇〇〇七

#### 民社党(一人)

- 原田 裕 総務委 東向島二-24-2 (612)五〇七五

#### 新自由クラブ(一人)

- 早川 幸一 建設委 石原三-19-1 (622)七〇〇八

### 区議会議員会派別一覧

氏名 所属委員会 住 所 電話番号

#### 自由民主党(二十人)

- 青木 良平 総務委 東駒形二-2-14 (626)四五〇〇
- 初沢 英夫 区民衛生委 八広六-11-9 (614)三三三九
- 山本賢太郎 厚生文教委 向島五-43-20 (622)二九〇一
- 久保田 薫 区民衛生委 八広二-38-10 (617)二六五五
- 小早川恵子 総務委 両国三-12-2 (635)二二三一
- 田中 左内 建設委 太平四-15-10 (622)一九八八
- 瀧澤 良仁 区民衛生委 墨田五-33-4 (611)四〇〇三
- 柴田 昌男 建設委 東向島五-3-1 (611)二〇六〇
- 湯本 令二 厚生文教委 京島三-63-6 (617)二九一八
- 原 正義 厚生文教委 向島一-10-6 (623)一九八八
- 樋口 丈吉 総務委 八広三-6-3 (617)四五二九
- 沖山 満 建設委 八広一-22-7 (617)六五五五
- 柴田 来治 区民衛生委 立川二-8-9 (634)一〇八一
- 桑名梅佐久 厚生文教委 横川四-1-16 (622)九八七三
- 寒川 直 建設委 東駒形四-6-4 (625)二八五〇
- 矢野 真治 総務委 墨田三-43-11 (611)七三〇四
- 山崎 政吾 建設委 東向島一-23-4 (614)二一一九
- 島村 福蔵 区民衛生委 京島二-13-1 (617)三九八〇
- 吉田武三郎 総務委 石原二-7-3 (623)七六六〇
- 青木 政最 厚生文教委 八広一-5-21 (611)一七六六

#### 公明党(七人)

- 並木 保雄 総務委 横川三-7-7 (622)七三五二
- 薩田 隆明 建設委 向島五-20-4 (625)八三四四
- 槐 勲 厚生文教委 立花一-28-4-615 (618)三八四九
- 矢口甲子夫 区民衛生委 横川三-11-1 (623)七二六四
- 青山 政雄 総務委 太平二-12-2 (623)一七二七
- 甚野 緑 区民衛生委 押上一-37-8 (623)五三〇四
- 森下三七人 建設委 江東橋四-15-6 (631)九五七五

#### 共産党(五人)

- 渡辺 良 厚生文教委 八広六-1-9 (612)八三〇四
- 西 恭三郎 区民衛生委 東向島五-5-4 (619)八一一一
- 武ノ内啓次郎 建設委 京島一-9-11 (618)四二一一
- 石橋 正夫 厚生文教委 押上二-34-7 (612)一四三八
- 吉田 実雄 総務委 向島三-24-8 (623)三三五六

#### 社会党(二人)

- 大和久常雄 区民衛生委 東駒形一-7-2 (626)〇〇八九
- 村瀬 政幸 厚生文教委 八広一-19-2 (618)〇〇〇七

#### 民社党(一人)

- 原田 裕 総務委 東向島二-24-2 (612)五〇七五

#### 新自由クラブ(一人)

- 早川 幸一 建設委 石原三-19-1 (622)七〇〇八

### 議決した意見書・決議(要旨)

#### 防災拠点計画の見直し等に関する意見書(陳情書)

防災拠点計画の実施が遅れている現状では、この方法で区民の安全を確保することはむずかしくなっています。早急に、災害に強い街づくりを進めるために、この計画の見直しと不燃建築物の建設

#### 不況対策推進のための意見書

景気浮揚策が進められているなかで、企業の経営悪化が目立ち、倒産や失業の不安が高まっ

促進についての施策を要望します。

東京都知事 あて  
 東京都議会議長 あて

#### 朝鮮の自主的平和統一に関する決議

世界平和と安全を念願する立場から、朝鮮半島の自主的平和統一が実現するよう政府に要望する決議

通商産業大臣、労働大臣  
 経済企画庁長官 あて

# コミュニティは

## 住民の理解・協力と責任参加

### 一般質問に区長答弁

今定例会本会議第一日の九月二十一日、自民党、公明党、共産党、新自由クラブ各々一人ずつの議員が、区長と選挙管理委員長に対して一般質問を行いました。各党の質問の要旨は次のとおりです。

#### コミュニティに

#### 住民参加の施設づくりを

#### 自由民主党

問 墨田区は、他区にくらべ、社会である。今後、区の施設建設に当たっては、建設過程のうちから、地域社会と行政の連携がとれるような形で取り組んでいきたい。区の施設の維持管理についても見直していきたいが、なんとも見直していきたくはない。また、地区住民の理解と協力と責任参加が前提であり、区も努力していききたい。

答 コミュニティは、独自の自治意識を基調とした新しい地域

#### 区民に防災意識の高揚を

#### 公明党

問 大地震の二次災害、特に火災の防止に対し、区も努力していることは認めるが、大震災の体験者も少なくなっている。住民の防災意識の高揚のため非常用避難袋と防災読本を各戸に配布し、防災総点検日を設定してはどうか。

答 防災対策は区の最重要課題だが、対策の中には、区でやる

問 区内は、準工業地域、近隣

商業地域や住居地域で、建築物の高度制限はできないが、中高層建築物が増加して、建築紛争も多発している。今後も紛争の増えることが予想される中で、区はどう対処するのか。

答 建築基準法上は、区長は建築確認事務にタッチできないことになっている。また、建築紛争は、法律以前の問題として考えなければならぬ。区は話し合いの場を提供するなどの面で解決に努力していききたい。

今後は、行政指導のための指導要綱的なものをつくり、町づくりに役立てたい。

なので、前向に検討したい。

#### 幼児教育の充実

問 私立幼稚園保護者負担軽減について、都内の各区で格差がある。区の補助費を増強すべきではないか。また、幼児教育の充実のため、小学校併設の幼稚園を増設する考えはないか。

答 最近、幼児教育に対する関心が高くなり、小学校入児童の98%がなんらかの施設を利用して

#### 風呂つき老人福祉センターの建設は

#### 共産党

問 風呂つき老人福祉センターの建設は、区内の老人達の希望である。こうした施設のないのは墨田区だけだ。区の検討結果はどうだったのか。また、ニコニコ入浴デーは、回数が少なく場所も変わるのでわかりにくい。

答 老人福祉センターの機能、施設に種類もあり問題もある。こうした施設が先か後か老人ホームが先か検討しなければならぬ。区内に百か所ある公衆浴場は、分布も適当であり、それを拡大拡充することも一つの方法ではないか。風呂つき施設だけ

#### 住民主体の環境改善を

#### 東墨田地域の環境改善事業

問 東墨田地域の環境改善事業は、区の新しい町づくりのためにも重要なものだ。住民の主体性を重視すべきだがどう考えているか。また、同和対策特別措置法は、54年3月末で期限切れとなる。非民主的な内容を持つこの法律の民主的改正は、区にとっても役立つと思うがどうか

#### 向島・弘福寺で

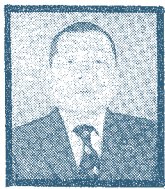
#### 待遇者会が慰霊祭

#### 区制30周年を記念して

区議会議員待遇者の親睦団体である墨田区議会議員待遇者会（小野内寿松会長）は、墨田区が発足以来三十周年を迎えたことを記念して、この三十年間に物故した、区議会議員と区議会議員待遇者の霊をなぐさめるため、来る十一月二日（水）弘福寺（向島五丁目三三）において合同慰霊祭を実施することにしました。

これは、かつて区議会議員として活躍した人々の中で、すでに亡くなった方々の霊を弔うものです。墨田区発足以来これまで区議会議員九十二人が物故しています。

#### 松野緑之助議員逝去



区議会議員松野緑之助氏は、九月十一日午後十一時肝不全のため逝去されました。享年六十三歳。松野氏は昭和二十六年区議会議員に当選以来、連続当選七回、二十五年もの長い間議員を務め、その間、区議

#### 新自由クラブ

内容を非民主的かどうかは、意見を差控えたい。二十三区の区長会では、地域の特性に即し図書館補助を拡大するよう改正されたいという要望をしている。

問 公職選挙法では、投票日の選挙運動は禁止されているが、七月に行われた参議院選挙・都議会議員選挙の際、投票日当日の立候補者の選挙事務所について、実態調査はしたのか、また違反者の摘発をしたのか。

答 投票日当日の選挙運動は、二、三の例外を除いてすべて禁止されている。区選管は、選挙の取締りである警察と連絡を取り対処しており、違反があれば撤去命令を出している。投票日当日は、きわめて多忙であり個々の実態調査はしなかった。

投票用紙の色をはっきりと

問 投票用紙を明確化して配布

答 投票用紙の様式については定めがあるが、色の定めはない。区選管だけでは定められないので、その選挙を管理する機関に意見等を述べていきたい。

選挙の候補者にならうとする者の寄付については、あくまでも、ならうとする者の良識によることなので、一般住民も含めて法の趣旨を徹底していきたい。

また、このたびの功績に対し、正六位勲五等双光旭日章が授与されました。

なお、松野緑之助氏の死去により、区議会議員の現員数は、三十六人となりました。

隅田川のほとり

塩原橋は、隅田川にかけられた橋の一つで、隅田川の方から数えて一之橋に次いで二番目にかかっている橋です。

橋の名前は、江戸時代、この橋の近くに塩原多助という人が住んでいたことに由来しました。塩原多助の立志伝は、講談や歌舞伎にもなっていて、その話によると、多助は、野州（今の栃木県）塩原に生れ、六歳の時（家庭の事情で）百姓角右衛門の養子となり、親一人、子一人の平和な生活をしていました。ある時、旅の女お亀とその娘お栄が困っているのを助けてやり、母

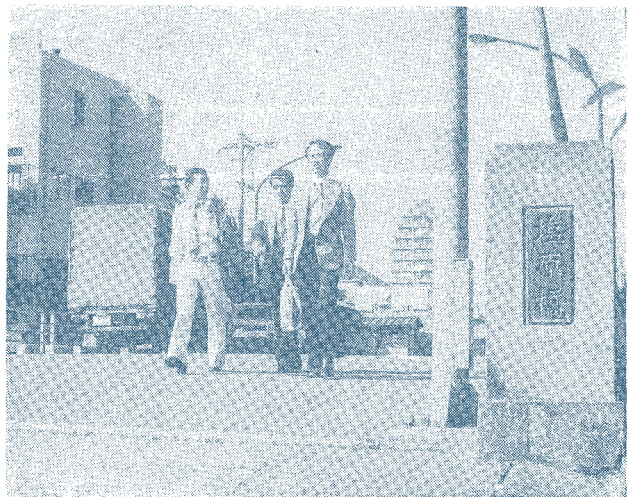
#### 塩原橋

娘の身の上をあわれんで、角右衛門は、お亀を妻にむかえ、その娘のお栄は多助の嫁とすることになりました。しかし、角右衛門が死んだ後、お亀とお栄は勝手しほうだ。その上、多助を邪魔者あつかいするようにになりました。そして、とうとう浪人の原丹次、丹三郎兄弟と手を組み、多助をなきものにしようとした。それを聞いた多助は、遂に故郷を捨てようとした。でも、多助が長年育ててきた愛馬「アオ」と別れるのはつらいことでも、「アオ」にも多助の気持が

わかるのか眼をしばばいて、さかんに袖を引っぱります。多助は、後髪を引かれる思いで江戸に向います。

お亀とお栄は、多助が出て行ったので大喜び。さっそく、お栄と丹三郎の祝言をあげていて、そこへ「アオ」が飛びこんできて、二人をかみ殺し、あげくに家は、火災を起して全焼してしまいました。

江戸に出た多助は、生来のまじめさで身を粉にして働き、炭屋の店を出しました。そして、その実直さを見せられ、藤野屋の娘と結婚し、共かせぎの苦労が突って立派な身代を作りました。そこへ、こじき姿のお亀がやってきました。でも、多助は昔のことを水に流し、義理の母を大切にいたわったというこ



今、の塩原橋

「太助」とい群馬県新治村で生まれました。現在でもその生家がのこされています。江戸に出て炭屋の店を出したのには、本所相生町二丁目、現在の両国三丁四丁目あたりでした。また、塩原太助が奉納したという灯籠が亀戸天神境

台風のシーズンも過ぎたようですが、天災は忘れたころにやってきます。区議会では、防災についての意見書を議決しました。災害に対しては、普段から備えておきたいものです。

ご意見、ご要望がありましたら区議会事務局調査係 ☎62-13151 内線245へ